年度	学年	教科等	URL	資質能力	児童・生徒の姿	指導の具体
R4	中3	国語	④中学校指導案(国語科).pdf	授業構想力	○作者がなぜ題名を「形」にしたのかを想像し、「象徴」という概念について学習者それぞれが自分の考えをもつことができていた。	自己の考えをもちにくい問いに対して、考える材料を学習者に示すために、教材文だけではなく作品の背景や作品創出に関わる作者の経験などの研究をした。
R4	小2	国語	Microsoft Word - R4 v. H	授業構想力	○物語の登場人物に自分自身を同化することで、物語の理解を深めながら、創作することができていた。	学習者が物語の〈空所〉を自ら創作する(新たに文章を加える)ことを通して、一人一人の読みを明らかにすることで、物語の理解が深められるように単元を構想した。
R4	小2	国語	Microsoft Word - R4 v. H	授業構想力	●用紙のサイズによって書くスペースが限定されていたため、たくさん書きたい学習者が思いを全て表出できなかった。	学習者の思考が端的に表出されると考えて、用紙のサイズや表現方法(会話文のみにする)を限定した。
R6	小4	国語	01_1_国語科学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○「本文を読んで考えたい、確かめたい。」という思いをもち、叙述のつながりを考えながら、自分の考えを整理したり、伝えたりする。	児童の一次感想から学習課題となる「なぜ」を設定し、「名探偵」となって「捜査メモ」に整理したり「捜査会議」で考えを伝え合ったりする場を設定した。
R4	小6	社会	⑥小学校指導案(社会科).pdf	授業構想力	○未来の肖像となるのはどういう分野の人物かという視点で、考えることができた。	過去の紙幣肖像が選ばれた理由とその当時の社会的情勢を関わらせて考える活動を仕組むことを通して、どのような時代だったか俯瞰して考えることができるように構想した。
R4	中3	社会	⑦中学校指導案(社会科).pdf	授業構想力	○1ドル何円が理想かをお互いに意見を出し合いながら、自分とは異なる意見に触れ、考えることができていた。	生徒全員がお互いの意見を見ることができるよう黒板を使うことを計画し、生徒の意見形成に活かせるように工夫した。
R4	中3	社会	⑦中学校指導案(社会科).pdf	授業構想力	○身の回りの日常やこれまでの学習で学んだことをもとに、1ドル何円が理想かを考えることができていた。	これまでの授業等の中で、生徒に時事について興味関心が持てるよう意図した授業を行っていた。
R5	小4	社会	02_1_社会科学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○広島県の観光資源や観光地(主に外国人に人気の高い2つの世界文化遺産)などから、広島県の魅力と実際の実態とのずれによって、課題意識をもっている児童の姿があった。	児童の広島県の特色のある地域の観光地や特産品等に対する関心と、それにもとづいた自分たちの考える観光の実態と実際の広島県における観光の実態をつなげながら考えられるようにした。
R5	小5	社会	02_2_社会科学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○学習の中での資料について、児童自身が望む資料を選択し、自分の仮説を裏付けるものとして使用しようとしていた。	資料として用いたグラフや表の内容が説明的で簡略化されたものを取り扱い、児童が選択していきやすいようにした。
R5	小5	社会	02_2_社会科学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○自国の食料自給率に目を向けて考えていたため、他国の気候や社会情勢が及ぼす自国への影響に課題意識を強く感じていた。	我が国の自給率の低い食材とその輸入様子が分かる「資料」と世界の様々な問題を記した「世界の出来事カード」を関係付けて考えていけるようにした。
R5	中2	社会	02_3_社会科学習指導案(中学校).pdf	授業構想力	○「ふるさと納税」の本来の目的が達成されていない場面があることがあること、とりわけ「返礼品」を用意したり、輸送コストがかかったりし、逆に財政面で負担をかけていたことに目を向くことができた。	「ふるさと納税」で地方公共団体に収入として入ってくる住民税以外に、他県へ「ふるさと納税」として流出する住民税があることから、それらを差し引きした金額が、マイナスに転ずる場合があることを確認した。
R5	中2	社会	02_3_社会科学習指導案(中学校).pdf	授業構想力	○「ふるさと納税」の長所(功)と短所(罪)をマトリクスで整理することで、地方に恩恵のある制度であることをきちんと確認することができていた。	「ふるさと納税」という耳なじみ且つタイムリーな話題をについて、その意義や目的などをおさえ、概念の習得の時間を丁寧に設けた。
R6	小5	社会	02_1_社会科学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○林業の困り感を知り、持続可能な林業の仕組みを考えようとする姿。	持続可能な林業を実現する地域へ直接出向き取材を行い教材化する。
R4	小5	算数	⑨小学校指導案(算数・数学科).pdf	授業構想力	○重なる図形を見ながら面積を求めることができないかという問いに対して協働性を働かせて考えることができた。	様々な図形が見えるように図形の提示の仕方にこだわることで子どもの導き出したという意欲を高めることができた。
R4	小5	算数	⑨小学校指導案(算数・数学科).pdf	授業構想力	○一見面積を求めることができなさそうな図形でもこれまでの既習を活かし、他者の意見をつなげて面積を求めることができた。	図形を重ねることで自然と児童は補助線を入れて考えることができるようになり、問題解決の糸口を掴むことができた。
R4	中2	数学	⑩中学校指導案(算数・数学科).pdf	授業構想力	○問い「直接測定しにくい場所の長さを測る活動を企画せよ」に対して協働性を働かせて企画させることができた。	三角形の合同条件など既習の学習内容と結びつけて主体的に取り組ませることができた。
R5	小1	算数	03_1_算数科学習指導案.pdf	授業構想力	○問題場面を図に表して解決する姿 ●問題場面が捉えられていない児童	図の良さを実感できるように順序数のみで問題を提示した。
R5	小6	算数	03_2_算数科学習指導案.pdf	授業構想力	○作図に必要な道具から、線対称な図形の性質を考える姿	単元内で学習する順番を入れ替えた。
R5	中2	数学	03_3_数学科学習指導案.pdf	授業構想力	○新しい図形の性質を見出す姿	ICTによって図形を自由に移動変形できるよう設定した。

R6	小2	算数	03_1_算数科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○平面と立体を往還したり、念頭操作をしながら空間を把握している。	箱作りという課題によって平面で捉えていたものを立体的・空間的に把握することができるようにした。
R6	小6	算数	03_2_算数科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○社会科の黒船をモデル化する姿	児童の予想と実物にギャップを感じることができることと歴史上の出来事を追体験することができる教材
R6	中1	数学	03_4_数学科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○角度を比例的に見ようとしていた。	扇子を教材として用いることで一つ一つの骨組みとなる柱のおかげで比例的に見ることができる。
R6	中1	数学	03_4_数学科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○生徒が興味・関心を持ちながら学習に取り組むことができていた。	三次市の鶴飼いの様子を授業導入に取り入れることで身の回りの事象を数学として取り入れるきっかけを作ることができた。
R6	中2	数学	03_5_数学科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○点を移動させて等積変形を行い、多様な考えを共有していた。	三角形を動かせるような教材を活用することで様々な見方・考え方が働かせることができるようにした。
R6	複高	算数	03_3_算数科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○ICTを活用しながら学びを進めている。	オゾボットを活用することで教材を動的に見ることができ、学びを深めることができた。
R4	小4	理科	⑫小学校指導 案(理 科).pdf	授業構想力	○既習の学習内容をもとに、水蒸気が教室の中にあるか調べる方法を、個人→ペア→全体→個人(内化・外化の往還)で考えていた。	既習の知識・技能の活用を促す科学的探究活動における内化と外化の往還場面の設定【教材研究(開発)】
R4	小4	理科	⑫小学校指導 案(理 科).pdf	授業構想力	○授業の導入場面において、「教室の中に水蒸気があるか」について、既習の学習内容をもとに、児童同士が予想を交流していた。	学習内容に関する児童の素朴な考え(課題に対する児童の考え)の想定【目標設定】
R4	中2	理科	⑬中学校指導 案(理 科).pdf	授業構想力	○科学的知識を活用しながら、内化・外化の往還を通して現象について思考しながら説明しようとしていた。	飽和水蒸気量曲線を示すことで、思考しやすくとともに、適切な内化・外化の時間を設定した。
R4	中2	理科	⑬中学校指導 案(理 科).pdf	授業構想力	○導入で、中身を凍らせたペットボトルの表面に水滴がつくことを想起していた。	想起しやすい現象を提示した。
R5	小3	理科	04_1_理科学 習指導案(小 学校).pdf	授業構想力	○既習事項(糸電話の音の伝わり方)をいかした予想ができていた。	風船電話という素材を教材化したこと。
R5	小6	理科	04_2_理科学 習指導案(小 学校).pdf	授業構想力	●外化場面を通して、考えの変容があまり見られなかった。	児童実態を踏まえると、外化場面は1つの範囲で十分であった。
R5	小6	理科	04_2_理科学 習指導案(小 学校).pdf	授業構想力	○手回し発電機の手応えを根拠にしながら予想を表現することができた児童が見られた。	電気の変換を捉える視点を段階的に深める単元設計を行った。
R5	中1	理科	04_3_理科学 習指導案(中 学校).pdf	授業構想力	●測定に時間がかかり、グラフから議論するところまで到達できなかった。	できるだけ測定しやすいように実験器具を工夫したが、ゴムを用いたことで温度の影響も受けるため誤差が大きくなってしまい測定に時間を要した。
R5	中1	理科	04_3_理科学 習指導案(中 学校).pdf	授業構想力	○測定誤差を考慮するために、複数回測定することが大切であることに気づけた。	1度だけの測定データで議論してよいか問うことで、測定誤差に注目させた。
R6	小4	理科	04_1_理科学 習指導案(小 学校).pdf	授業構想力	○観測データの最高気温や最低気温の差に着目して、晴れ・雨・曇りの日の気温変化の違いについて自身の考えを記述することができた。	気温変化の折れ線グラフだけではなく、「最高気温」「最低気温」「最高気温と最低気温の差」などをグラフと共に示した。
R6	小4	理科	04_1_理科学 習指導案(小 学校).pdf	授業構想力	○気温の変化に関する問題の結論を導出する際には、おおまかな共通の傾向を見出す必要があることに気づくことができた。	気象庁の観測データを活用することで、複数の観測データを踏まえて、天気による気温変化の共通の傾向を見出すことができるようにした。
R6	小5	理科	04_2_理科学 習指導案(小 学校).pdf	授業構想力	○電磁石の仕組み(コイルに電流が流れることで極ができること・コイルの中の鉄心が磁化すること)を理解することができた。	「電磁石から鉄心をぬくとどうなるか」という問題を設定することで、コイルや鉄心の必要性や働きについて考えることができるようにした。
R6	小5	理科	04_2_理科学 習指導案(小 学校).pdf	授業構想力	○「電磁石から鉄心をぬくとどうなるか」という問題に対して、既習事項と関係付けながら予想したり、内化と外化の往還をしながら、より妥当な考えを持ち、実験に取り組むことができた。	児童の葛藤を生むような問題設定をした。内化と外化の往還を促すことで、自身の考えをより吟味できるようにした。
R6	中1	理科	04_3_理科学 習指導案(中 学校).pdf	授業構想力	○セタノールを用いた自作の容器を用いて熱湯の温度変化を測定して、自然冷却よりも急激に熱湯の温度が下がることに気づけた。	セタノールを用いた自作の容器の特性を評価する活動を入れることで、興味を持って観察・実験に取り組めるようにした。また、測定結果をグラフに表すことで熱湯の温度が急激に変化することに気づけるようにした。
R6	中1	理科	04_3_理科学 習指導案(中 学校).pdf	授業構想力	○アイスネッククーラーに触れることで物質の固体から液体への変化と熱の出入りを感覚的に理解することができた。	生活で利用されているPCM素材のアイスネッククーラーを教材として用いることで、生徒の学びに向かおうとする態度を高められるようにした。また、実際に触れることで状態変化に伴う熱の出入りに着目できるようにした。
R4	小2	生活	⑭小学校指導 案(生活 科).pdf	授業構想力	○1年次に創り出した遊び方を生かして、牛乳パックでも遊びを創り出していた。また、新たに「たたく」という遊び方が創り出された。	共通素材の牛乳パックを用いて、1年次の「くさばなステージにあつまろう」での遊び方の広がりを生かした単元を構成した。

R4	小2	生活	⑩小学校指導案(生活科).pdf	授業構想力	○同じ素材から多様な遊びを創り出すことができることに気付いたり、遊びそのものを創り出す面白さを味わったりしながら活動できていた。	児童が対象と関わる場面や児童同士で関わる場面がより生まれやすくなるために、「つくる」→「お試し遊び」→「つくる」→「お試し遊び」を繰り返して行うことができる単元を構成した。
R5	小1	生活	05_生活科学習指導案.pdf	授業構想力	○「たんけんメモ」に、探検した場所で見付けたことや気付いたこと、先生やお兄さん、お姉さんにインタビューして分かったことなどを、絵と言葉で簡単に表現していく姿が見られた。	「たんけんメモ」を活用した。大きさがワークシートよりも小さいため、かく内容が自然と狭まり、より多くのものや気付きを見付けることができるようにした。
R5	小1	生活	05_生活科学習指導案.pdf	授業構想力	○関わることの楽しさや調べたい場所のよさに気が付き、自ら学ぼうとする意欲を高めることができた。	5月から12月の長期にわたって扱い、調べたり伝えたりする活動を繰り返し行った。
R6	小2	生活	05_1_生活科学習指導案.pdf	授業構想力	○インタビューをしたお店や施設の位置感覚を味わいながら楽しんで活動している姿が見られた。(実際に距離のあるお店からお店へ移動していた児童は、「遠かった。疲れた。」と言っていた。	ジョイントマット(お店や施設)や平均台(陸橋)などを使って、体育館の半面に調べた通学路を表現した。
R6	小2	生活	05_1_生活科学習指導案.pdf	授業構想力	○「たんけんメモ」を使って、分かったことや気付いたことなどを友達に積極的に伝えることができていた。「たんけんカード」の絵を指し示しながら、伝えるだけでなく、質問に丁寧に答えている姿も見られた。	昨年の学校探検の単元でも活用した「たんけんメモ」の大きさを2倍にした。ジョイントマットの上に、「たんけんメモ」にかいた絵を表にして置くことで、絵を見せながら、相手に分かりやすく伝えることができるようにした。(絵の裏面には、その絵に関することが短い言葉で書くようにした)
R4	中1	音楽	Microsoft Word - R4研究会指導案音楽科 20221101提出用.docx	授業構想力	○中学校では、初めての楽器を使った創作活動であったが、戸惑うこともなく積極的に取り組むことができた。	「百人一首大会」に向けてクラスター活動が盛り上がっている時期に、百人一首の和歌を題材として設定した。
R4	中1	音楽	Microsoft Word - R4研究会指導案音楽科 20221101提出用.docx	授業構想力	○自然に抑揚をつけて和歌を朗読したり、和歌の意味を考えて楽器の選択や音の出し方の工夫をしたりすることができた。	和歌のもつリズムや節を感じ、その意味や背景を理解して創作活動が行えるようにした。
R5	複高	音楽	06_1_音楽科学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○アングルンとハンドベルとを聞き比べをしながら楽器の構成の共通点を探る姿が見られた。	実際に2つの楽器の音を出しながら、楽器の特性を見つけたり、音色の特徴を味わったりする活動を設定した。
R5	複高	音楽	06_1_音楽科学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○竹素材同士の楽器を聞き比べ、音色の違いを聞き取る様子があった。	ICT機器を活用して、東南アジアと日本の様々な竹素材楽器の音色や演奏法を調べる活動を設定した。
R6	小3	音楽	06_1_音楽科学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○音の高低・順番を意識しながら、これまで聞いてきた西洋音階とは違う日本音階の雰囲気を感じ、深く聴き、一音の響きに集中して聴く姿があった。	西洋音階と日本音階を一つ音ずつ卓上ベルで聞き比べ、「同じ」「違う」を聞き分けながらペアリングしたり、順番に並べるグレーディングをしたりする学習活動を通して、聴感覚を働かせる活動を実施した。
R4	中3	美術	⑩中学校指導案(図画工作・美術科).pdf	授業構想力	○制作の手順をタブレットで確かめながら主体的に制作に取り組むことができていた。	資料として制作のポイントを写真で説明するスライドを配付し、生徒がいつでも見ることができるよう準備した。
R4	中3	美術	⑩中学校指導案(図画工作・美術科).pdf	授業構想力	●限られた素材の中でつくることで、制作が制限されてしまう。	限られた素材で計画的に制作する力をつけたいと考えたが、生徒のアイデアを形にするための手立てを考えることも必要であった。
R4	中3	美術	⑩中学校指導案(図画工作・美術科).pdf	授業構想力	○素材の扱い方がスムーズで、主体的に制作に取り組むことができていた。	指導計画の中で素材の扱い方を練習する時間を確保し、制作に生かせるようにした。
R4	中3	美術	⑩中学校指導案(図画工作・美術科).pdf	授業構想力	○自分がつくりたい形のイメージを明確にもって制作に臨んでいる姿が見られた。	ワークシートに作品を置く場所、目的、そのためにどのような工夫ができるかについて考える項目を設定した。
R4	複低	図工	⑩小学校指導案(図画工作・美術科).pdf	授業構想力	○目の見えにくい方に伝わるように、「知っているような言葉にして話した」、「ここ・これ(指示語)等を使わなくても伝えやすいように、手をもって場所を教えた」と、工夫したことを挙げていた。	先天盲の方と絵画鑑賞を楽しむために、慣れ親しんできた見方を変えてみようとして試行錯誤することができる環境を設定した。

R4	複低	図工	⑩小学校指導案(図画工作・美術科).pdf	授業構想力	<p>●「楽しい感じ」「(雨が)ポツポツ(降っている)」「暗い倉庫みたい」「明るい色」という言葉が少し聞こえた他は、具体的なモチーフや色名で対話する児童がほとんどであった。見えていない相手に対して視覚以外の手段で伝え合うという割り切れるものではなかったが、互いのこれまでの経験や概念としての知識で語り合える部分は視覚も含めた言葉でやり取りを重ね、何とかして伝えようとする姿が多く見られた。</p> <p>○参観者の見取りの中に、「子どもたちとゲストの相互のやり取りが印象的だった。初めは、子どもが一方的に伝えていたが、浮世絵を見て子どもが「昔っばい」と発言した時、ゲストが「どうしてそう思ったの?」から学びが深まっているような気がした」という言葉があった。</p>	視覚以外の多様な感覚を研ぎ澄ませ、相手に伝わるように言語化する過程を通して、造形的な思考を深めることをめざした。
R5	小6	図工	日時平成25年11月30日(土)	授業構想力	○個々がタブレットのアプリ(i-movie)を自由に使って自分なりのbeautiful&emotionalを求めて試行錯誤を繰り返すことができていた。	十分に試行錯誤できるような学習環境の整備と時間の保障に努める。
R5	小6	図工	日時平成25年11月30日(土)	授業構想力	○児童が自分に関する作品を作りたいという意識を持って表現していた。主体的な表現活動は、授業後も続いていた。	児童がそれぞれ自分なりの見方や感じ方、感覚や感性を存分にはたらかせながら主体的、追求的に取り組むことのできる目標設定をする。
R5	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○生徒がタブレットの扱いに慣れており、班で助け合うことで方法を見つけていっていた。	トリミングなど難しい操作もあったが、間違ってもすぐやり直せる環境がつけられていた。最初からグループの形にして交流しながら形のつながりを考えることができていた。
R5	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	●文様に具体物が多かった。	より抽象的な形にした方がリピーションなどの美しさに気付けたかもしれない。
R5	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○何をするのかわかりやすく安心して活動できていた。	授業の初めの段階で流れを黒板に示していた。
R5	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○生徒がクリエイティブかつ主体的に活動していた。	生徒が自分の得意なことや好きなことにかかわるものを基につくる題材を設定することで、主体的に学習に取り組めるようにした。
R5	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○全員に共通理解が生まれ子供たちが次にすることを意識して授業を受けていた。	最初にスクリーンで参考作品を示した。
R5	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	●タブレットの扱いで困っている生徒も見受けられた。	トリミングのマーク、スライドのファイル名など、細かく指示することでタブレット操作でつまづく可能性を減らしている。手元の操作も映せたらなおわかりやすい。
R5	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○「自分が不器用すぎる」と言っていた生徒が思ったように並べることができ始めると「きたきた、これが良かった」と言っていた。 ○「失敗したから嫌だ」と言っていた生徒が絵を回転させて並べて自分の絵の良さに気づき新たな価値を生み出していた。	タブレットを用いて組み替えを行うことで、形を組み合わせたときのつなげ方の工夫を試行錯誤しながら考えることができるようにした。
R5	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	●描いた作品つながらるところが少ないものと同じ向きに並べるだけになっている人が多かったように見えた。	アイデアスケッチのときにつなげることを意識してつくる視点を提示する。
R5	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○参考作品の単位形の4パターンを見た時に「すごい!」と言っており、見え方が変化して新たな視点を持つことができていた。	文様の方向や並べ方で見え方が変わること気付けるよう、参考作品を使って比べられるようにした。
R5	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○絵のようなデザインをしていた子が友達と交流することで自分のデザインを再考している姿が見られた。	グループ交流の前に「形のつながりが文様の中にあるか」という見る視点を提示している。
R6	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○試行錯誤を繰り返し、個々の表現を楽しんでいた。	粘土の量や道具の種類を工夫して準備し、生徒がさまざまな方法を試せるような環境をつくった。
R6	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○ロイロノートに次の時間のめあてを書いておくことで見通しがもてていた。	授業の初めに生徒が自分の目標を明確にして制作に取り組めるよう、ロイロノートの項目や授業の組み立てを工夫した。
R6	中1	美術	07.2美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○ロイロノートの使い方に慣れていた。	ポートフォリオとして毎時間記録を残し、生徒が自分の制作過程を振り返ることができるようにした。
R6	複低	図工	07.1図画工作科学習指導案.pdf	授業構想力	○興味深い実践になったようである。	ゲストティーチャーを招聘した。

R4	小1	保体	②①小学校指導案(体育・保健体育科).pdf	授業構想力	○コートを一ぱいに動き回り、チーム内で声を掛け合いながら、一生懸命ゲームに取り組んでいた。	ちょうどよいコートの広さの中で、2人ずつ入り、必ず触球して返球するルールを設定した。
R4	小1	保体	②①小学校指導案(体育・保健体育科).pdf	授業構想力	○得点を取るために、ボールの転がし方や方向を主体的に意思決定していた。	バレーボールのような空中操作を行わず、ボール操作を転がすことに限定し、要求度を緩和するルールとした。
R4	中1	保体	②②中学校指導案(体育・保健体育科).pdf	授業構想力	事実に基づいた思考を深めていた	記録を可視化すること
R4	中1	保体	②②中学校指導案(体育・保健体育科).pdf	授業構想力	次回の走るペースを調整しようとする姿	記録を可視化すること
R5	中3	保体	08 3 保健体育科学習指導案(中学校).pdf	授業構想力	○ゲーム中に、どの児童もボールをキャッチしようと意欲的に取り組んでいた。	児童の発達段階に丁度よいコートの広さや恐怖心を払拭したボールの選定を行う。
R5	中3	保体	08 3 保健体育科学習指導案(中学校).pdf	授業構想力	○「タイムを短縮させるためにハードルを早く越える」という目標を達成するために意欲的に取り組んでいた	単元を通して目標を変えず、常に生徒への言葉かけを行う。
R5	中3	保体	08 3 保健体育科学習指導案(中学校).pdf	授業構想力	○ドリルやタスクゲームの中から本時の解決したいポイントやコツを考え、発揮しようとする動きが見られた。	ゲーム後の振り返りの際に、「もっと得点をとるためには？」と問い、児童の困り感から解決方法を児童自らが考えることができるようにする。
R5	小3	保体	08 2 体育科学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○学習者がめあてとなる動き方のコツを共有したり、動き方のイメージをもったりすることができていた。	課題把握後にドリルゲームを設定し、簡単な場で身に付けたい動きを体験することができるようにする。
R5	小3	保体	08 2 体育科学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○プレイ後の兄弟チームでの関わりが具体的に機能していた。ミスの原因だけでなく、良い挑戦にも肯定的なフィードバックをしていた。	兄弟チームを設定し、プレイ後の振り返りによって学習者が自身の動きを見直せるようにする。
R6	小4	体育	08 1 体育科学習指導案.pdf	授業構想力	○めあてとなる動き方のコツを共有しながら関わり合うとともに、動き方のイメージをもって運動に取り組む姿。	課題把握後に簡単な場で身に付けたい動きを体験し、段階的にゲームの様相を設定する。
R6	小4	保体	08 1 体育科学習指導案.pdf	授業構想力	○効率の良い動きを模索する姿。	兄弟チームでプレイ後の振り返りを行い、学習者が自身の動きを見直せるようにしたり、グループで動きを見合う活動にしたりすることで思考を深められる場面を作る。
R6	中3	技術	09 1 技術科学習指導案.pdf	授業構想力	○センサの特性について「閾値」と「実際の距離」の関係性を理解できたというワークシートの記述	センサに着目した教材開発 (参会者より：センサに着目することで、身の回りの製品がブラックボックス化されているかに気付くことができる◎)
R6	中3	技術	09 1 技術科学習指導案.pdf	授業構想力	○外国語の知識 (if & then, go to等) を活用しながらプログラミングを実施できていた	テキストプログラミングによる実践 (参会者より：高等学校の接続を見据え、理解しやすいBASIC言語◎)
R6	中3	技術	09 1 技術科学習指導案.pdf	授業構想力	○「学校で習う知識はそれぞれ別のもとも考えるよりも、関係していると考えたほうが活かしやすい」という記述など、他教科との関連の良さを実感できていた。	表・グラフ・数式(数学の知識)を用いたセンサ特性の可視化の手順
R6	中3	家庭科	10 1 家庭科学習指導案.pdf	授業構想力	○作業に取り掛かることができていた	活動前に何をすればよいか本時の目標を明確化した
R6	中3	家庭科	10 1 家庭科学習指導案.pdf	授業構想力	○グループ内で自分の考えを深めることができていた	ポスター制作の前にグループで自分の考えを共有する時間を設けた
R6	中3	家庭科	10 1 家庭科学習指導案.pdf	授業構想力	○他者の意見を聞きながら作業ができていた	グループで活動を行った
R4	中3	外国語	②②中学校指導案(外国語活動・外国語科).pdf	授業構想力	●自分の意見を考える際に戸惑う姿が見られた。	生徒が自分の意見を考えやすいような題材の提示をしたり、生徒にアンケート項目を考えさせたりという工夫が必要である。
R4	中3	外国語	②②中学校指導案(外国語活動・外国語科).pdf	授業構想力	○与えられた課題を読み取り、自分にできることを伝えようとする姿が見られた。	実際のアンケート結果を使用し、日本に住む外国人が今困っていることを伝えることで、生活と結び付けて考えられるようにした。

R4	複中	外国語活動	㉔小学校指導案(外国語活動・外国語科).pdf	授業構想力	○コミュニケーション場面を把握し、目的意識をもって取り組む姿が見られた。	コミュニケーション場面を生活と結びつけることで、児童がコミュニケーションを行う目的意識をもって取り組むことができるようにした。
R5	複中	外国語活動	10_1_外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力	○1時間を通してどの児童も積極的に英語を使う姿が見られた。	多様な活動形態で児童の発話を促すことで、英語発話の量と質の向上につなげた。 身体表現を伴った歌などを適宜取り入れた。
R5	複中	外国語活動	10_1_外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力	○コミュニケーションの目的を意識したやりとりが見られた。	児童の興味・関心に沿った言語活動の設定を行った。
R6	中3	外国語	11_3_外国語学習指導案.pdf	授業構想力	○日本人同士での考えの交流の際に、他者の考えに興味をもったり、共感している姿が見られた。	EMSの生徒、また特別支援学級の生徒と、「学校」「友だち」「しあわせ」とは何だと思おうかを交流するという興味関心のもてる設定
R6	複中	外国語活動	11_1_外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力	○授業の先を見通しており、先にどのようなことをしたいかが児童にある。	文化の違いに着目するような声掛けや児童が受け身にならないような場面設定
R6	複中	外国語活動	11_1_外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力	○Small Talkでは児童が積極的にたくさん質問し合う姿があった。	共通点を探するという目的のあるSmall Talkの設定
R6	複中	外国語活動	11_1_外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力	○どの児童も一生懸命動画撮影に向けて練習をしていた。	発表の仕方における児童同士の工夫点を考えることで、練習に意味や必然性がある。
R6	複中	外国語活動	11_1_外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力	○児童の興味関心が高く、「知りたい」「やってみよう」という気持ちが大きいように見えた。	日常なこと、学校行事を生かした言語活動場面の設定
R6	複中	外国語活動	11_1_外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力	○ほとんどが積極的に発言しており、活動も活発に行っていた。	日常なこと、学校行事を生かした言語活動場面の設定
R6	複中	外国語活動	11_1_外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力	○書道、琴、そうじなど日本の特色をもとにした発表内容を考えていた。	他教科等での知識をつなげるような単元計画
R6	複中	外国語活動	11_1_外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力	○数・大きさなどの既習表現を使っている姿。	既習の表現を想起することができるような場の設定・Non-verbalのみでなく、言語表現にも意識を向けることができる中間指導
R4	養高	道徳	㉔小学校指導案(道徳科).pdf.pdf	授業構想力	○自分の性格を見つめる教材、偉人を扱う複数教材などを関連づけながら、「なりたい自分像」を考えていた。	学級目標を動機付けとして学習課題を設定し、児童の課題意識を継続させつつ複数教材について学習を進めた。
R5	養高	道徳	11_特別の教科道徳学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	●「問題解決」を実感することができる課題であったか。	学級目標と社会正義との関係性を児童は意識しにくかったか。
R5	養高	道徳	11_特別の教科道徳学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○単元の終末時に、直前の複数時間の内容を加味して自分の考えを記述する。	単元の学習課題を示すとともに、近接した時期に複数時間行う。
R6	小3	道徳	12_1_道徳学習指導案.pdf	授業構想力	○子どもの考えが他の子どもの発言を受けてより広がり、深まっている様子が見られた。	子どもの発言に対して、「例えば？」など、具体を聞くための問い返し発問を行った。
R4	中2	特別支援	㉔中学校指導案(特別支援).pdf	授業構想力	○教師の少ない支援で、生徒が主体的にペットボトルを貼り合わせていた。	生徒にとって分かりやすく、且つ意欲的に取り組めるように、前時に生徒が出した意見をもとに、うまくいくための「コツ」を作成した。【意欲を育てる工夫】
R4	養高	特別支援	㉔小学校指導案(特別支援).pdf	授業構想力	○低・中学年の児童も参加できるように、高学年の児童が声をかけていた。ボールすくいのポイの紙の厚さを工夫していた。	児童の意見を取り入れて、単元を進めた。どのようにしたらうまくいくかを児童が考え、児童の意見を取り入れて道具やゲームを作るという単元展開をした。【生活との結びつき】
R5	中2	特別支援	12_3_生活単元学習学習指導案(中学校).pdf	授業構想力	○生徒が地図を前に積極的に意見を出し合い、予想している。	生徒に身近なものを取り上げた。予想するために必要な知識や情報を、日常生活の中で経験しているであろう(しかし確かな経験にはなっていないであろう)課題を設定した。
R5	養高	特別支援		授業構想力	○他教科の授業も、児童が自分で内容や順番を決めて進行しようとしていた。	児童の興味関心に基付いた授業展開や、児童が主体となって活動できる環境を設定した。
R5	養高	特別支援		授業構想力	○博物館で鑑賞したことを普段の会話の中で話題にする姿が見られた。	公共の施設(広島県立歴史博物館)と連携して児童の活動の幅を広げた。
R5	養中	特別支援	12_1_生活単元学習学習指導案(養護中学年).pdf	授業構想力	○絵本に登場する虫のイメージを言語化し、その虫のイメージを体で表現した。	自分の見せ場を考え、自分なりの言葉や動作で虫を表現することで、自分の役のやるべきことをイメージできるようにした。
R5	養中	特別支援	12_1_生活単元学習学習指導案(養護中学年).pdf	授業構想力	○劇の取り組みの中で、発表後のゴールイメージをもつことで、見通しをもって学習や活動に取り組むことができた。	友だちや家族が見ている前で劇をすることに期待感を持ち、また、それを他者からの評価をしてもらうことで、がんばった自分を実感し、劇の取り組みに対する達成感をもつことができるようにした。

R6	中1	特別支援	13.3 特別支援教育学習指導案(中学校).pdf	授業構想力	○協力ポイントを考える際に、前時やこれまでの学習を思い出して、生徒同士で意見を出し合う。	単元全体を通して教師と生徒の合言葉“協力”を掲げると共に、見通しを持つことができるよう学習の展開をパターン化する。
R6	中2	特別支援	13.4 特別支援教育学習指導案(中学校).pdf	授業構想力	○チェックリストを参考にしながら、同じグループの生徒に言葉で伝えながら、助けたり、助けを求めたりする。	話しかけるときの言葉や、手伝って欲しい時の言葉など、話型の例を指導する。状況と使える言葉のチェックリストを提示し、活用を促す。
R6	養中	特別支援	おにろく	授業構想力	○うろこを渡すときの「どうぞ」「ありがとう」のやり取りについて、教師の支援を介さず、子ども同士で行う。	セリフと日常生活の中の会話とを結びつけ、劇の展開に日常生活場面を取り入れる。
R6	養低	特別支援	13.1 特別支援教育学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○劇のセリフを、お弁当を選ぶシーンで、児童の好きな食べ物にする。マイクの前で選んだお弁当をもって「ラーメン」と言う。	児童のこれまでの経験や学習してきたことを関連づけて、劇の内容の展開をする。
R4	小5	保健教育	【学校保健】	授業構想力	●普段の生活での健康に関する情報検索では、児童がイメージしにくい様子が見られた。	健康についての情報ではなく、一般的に児童が普段行っている情報検索についての考えや情報を検索するときの行動のイメージを共有してから、健康に関する情報に応用する構成にする必要があった。
R4	中2	保健教育	【学校保健】	授業構想力	○自己の内面を数値化することで自己理解を深めることができた。	自己を客観視するためにエゴグラムで可視化する方法を用いた。
R4	中2	保健教育	【学校保健】	授業構想力	○プレテストで他学年より自己受容が低い。	保健室内外での生徒対応の中で感じた課題を介入につなげた。
R5	小6	保健教育	13.1 保健教育学習指導案(小学校).pdf	授業構想力	○作成したい保健だよりの目的を理解し、作成するイメージをつかむことができていた。	保健だよりの作成にあたり、1年前の手洗いの実験と情報検索学習の振り返りを行い、他教科既習事項とも関連付けた。問題意識が明確になるように現在の東雲小学校の感染症対策の実態を取り上げた。
R5	中3	保健教育	13.2 保健教育学習指導案(中学校).pdf	授業構想力	○今の自分の内面をふまえて自己理解を深めたり、行動変容の意欲を高めたりすることができた。	事前に行った自己肯定意識尺度の測定により集団の実態を把握し、授業の展開に反映させた。